

移植後の生活の 注意点

目次

- スライド3:拒絶反応について
- スライド4:胆管ドレーン管理の注意点
- スライド5:ワクチン接種について
- スライド6:感染症
- スライド7:感染症の治療
- スライド8:運動、外出について
- スライド9:ペットについて
- スライド10:食事に気をつけること

拒絶反応について

拒絶反応とは

- ・ 自分じゃない物を見つけて身体を排除する働きです。

拒絶反応の種類

- ・ 急性拒絶反応: 移植後1週目から1~2ヶ月くらいに最もよく見られる。
- ・ 慢性拒絶反応: その後数ヶ月から半年以降に徐々に進行していきがあります。

拒絶反応を抑えるために必要なこと

- ・ 肝移植では、拒絶反応の90%以上は免疫抑制剤によって治療可能です。
- ・ 免疫抑制剤を適切に使用すれば、移植された肝臓が拒絶反応のために失われる確率は非常に小さくなります。

胆管ドレーン管理の注意点

- チューブが抜けない様に、しっかりテープで固定しましょう。
- チューブが抜けない様に、刺入部を糸で縫ってあります。糸が外れていないか、確認しましょう。
- 誤って引っ張ってしまったり、抜けてきたりした場合は、直ぐに病院に連絡をしてください。
- チューブが入っている皮膚の周囲を消毒する必要は、ありませんが、胆汁や膿状の浸出液が出てきて周囲の皮膚が赤くなったり痛みがある時は、外来受診時に相談して下さい。
- ◆ その他医師の指示があった場合には、必ずその指示に従ってください

ワクチン接種について

- 移植後は、一般的に生ワクチンの摂取はできません！！
- その為に、移植前から積極的にワクチン接種（定期予防接種）を行います。。
- 必要に応じて一度に複数のワクチンを接種し（同時接種と言います）、早期にワクチン接種を終えることで、免疫力を得て移植に備える必要があります。

【インフルエンザワクチン】

- 肝機能の状態により摂取できる場合があります。
- 状況によりワクチン摂取が移植後になる可能性もありますので、医師に相談しましょう。
- 可能であればご家族も含めて摂取するようにしましょう

感染症

移植後 ～6ヶ月 以内	薬剤耐性病原体感染症(MRSAなど)
	アスペルギルス、ニューモシチス肺炎
	カテーテル感染、手術部位の感染
	胆管炎、サイトメガロウイルス、EB ウイルスなど
移植後 6ヶ月以 降	成長に伴い感染症にかかる頻度は、低くなってきます。
	しかし、子供がかかるような感染症に掛かることはあるので、注意が必要です。
	退院後の日常生活の中で、肺炎、中耳炎、尿路感染症や風邪のウイルスにも注意が必要です。

- ◆ 特に、水ぼうそう(水痘)や麻疹は重症になることがあります
- ◆ そのような人との接触を避け、接触があった場合は、医師へ相談しましょう

感染症の治療

- 術後感染症予防に抗菌薬の投与をします。
- 細菌感染には、抗菌薬を使用します。
- 真菌感染(カンジダなど)には、抗真菌薬を使用します。
- サイトメガロウイルスは、ガンシクロビル(デノシン)という薬を使用します。
- EB ウイルスは、免疫抑制剤を一時的に減量したり止めたりすることがあります。
- カリニ肺炎を予防するために、バクタ®やバクトラミン®、ダイフェン®という薬を術後しばらく内服します。

運動、外出について

退院後の体の状態

- ・ 病院にいる時に比べ、体力なくなり、疲れやすくなっています。
- ・ 退院後は、数ヶ月間の外出時はマスクと手洗いをしっかり行うようにしましょう
- ・ 免疫抑制薬を飲んでいると感染症にかかりやすくなります。
- ・ 感染症にかかると肝機能が悪くなってしまう事がありますので、予防をしっかりとしましょう

お出かけする時

- ・ 家の中での運動の範囲をすこしずつ広げることからはじめ、徐々に散歩などおこなうようにしましょう

スポーツやプールなど

- ・ 温泉、プール、海水浴、スポーツを始められるときは医師に相談しましょう

ペットについて

◆動物は多くの病原体を持ち、動物から人にうつる感染症もあります。

◆移植後にはこれまでにかからなかった感染症や、かかった場合に重症になる場合があります。

◆移植後、まもない時はペットとの関係を医師と相談するようにしてください

ペットを飼うときの注意事項

- ・ペットへの予防接種と清潔にすること
- ・ペットの糞尿に直接触れないこと

動物から感染しないための注意事項

- ・飼っている動物が 感染症に掛からないこと
- ・人に病原体が入るのを防ぐこと

食事に気をつけること

- ◆食事は、毎食、主食に主菜(魚・肉・卵・大豆製品)、副菜(野菜料理)を組み合わせ、1日の中で乳製品と果物をとると栄養バランスがよくなります。
- ◆食事は、抜かさず1日3回食べることが大切です。

【医師の指示に従い食べるのをやめた方がいい食事】

生もの(刺身、寿司、生野菜、生卵、果物)

漬物や瓶入りの佃煮や佃煮海苔

大福・ケーキなどの生菓子

代謝異常がない場合は、一部の果物・ジュース以外に制限はありません。

代謝異常がある場合、ミルクや食事は医師の指示に従いましょう。

参考・引用文献

- ・熊本大学医学部附属病院移植医療センター「肝移植の手引き」:
http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/transplant/patient/liver_transplant/index.html

- ・成育医療センター「こどもの肝移植ハンドブック 2015 年版」

- ・感染症TODAY「小児臓器移植患者への予防接種」2015/04/01:
http://medical.radionikkei.jp/kansenshotoday_pdf/kansenshotoday-150401.pdf